

1. 資源物とごみの分け方・出し方

紙類の出し方の主な間違い

紙類は異物の混入を避けるため、ひもで十字に縛って出してください。
新聞販売店の袋に入れて出すことや、縛らずにダンボール箱にまとめて入れる、粘着テープなどで縛って出す方法はリサイクルに支障をきたします。
また、それぞれの紙の種類によってリサイクルのされ方が異なります。種類ごとに分けて縛るようにしてください。

(出し方の間違い例)



紙類・布類

布類 (週1回 曜日)

2ページで曜日確認

対象になるもの

- 布類 (そのまま利用可能な衣類または素材が主に木綿である布: 手ぬぐい・タオル類・シーツ類など)

☆セーター、コートなどの冬物衣類やスーツも対象となります。

☆衣類のボタンやチャックなどをはずす必要はありません。



出すときのルール

- 洗濯をしてから出してください。
- 透明または半透明の袋に入れてください。

お願い

- 雨の日は、出すのを控えて翌週に出してください。

対象外のもの

- ×汚れたものやしみのあるもの
- ×下着、小物類 (手袋、靴下、帽子など)
- ×革製品、たんもの (着物) など

燃やすごみへ
4ページ参照

☆ふとん、毛布は大型ごみになりますので、13ページをご覧のうえ処分してください。